

# 綾部に朝ドラを誘致しよう！

## 全国から4万人の署名も

昨年7月に悲願の京都縦貫自動車道が全線開通し、ヒト・モノの動きが活発になっています。市の魅力をPRし、さらなる定住交流施策につなげ「綾部創生」の実現を目指すため、現在、NHK朝の連続テレビ小説（通称・朝ドラ）を誘致しようとする運動が展開されています。



グンゼ創業者の波多野鶴吉とその妻はな。人間愛に満ちあふれたドラマチックな生涯をドラマ化しようと、活動が展開されている

### 昨年9月に誘致協議会を設立

明治期、日本の産業振興と本市の発展に大きく寄与したグンゼ創業者・波多野鶴吉とその妻・はな。彼らの生涯を広く紹介し、綾部の先駆性と愛に満ちた市民風土を全国に発信するため、昨年6月、朝



羽井会長に要望書を手渡す山崎市長。12月7日、NHK東京放送センターで

### 誘致活動を広く展開

の連続テレビ小説誘致推進協議会発起人会を組織。オール綾部で朝ドラを誘致しようとして9月2日、市や経済関係者らをメンバーとする「NHK朝の連続テレビ小説誘致推進協議会」（会長・山崎善也綾部市長、会員23人）を設立しました。

同協議会は昨年12月7日にNHK東京放送センターを訪れ、羽井勝人日本放送協会会長に要望書を手渡しました。また、今年1月13日には大阪放送センターも訪問。山崎市長は「今日の夢」を「明日



1月13日に、協議会メンバー総出で行ったNHK大阪放送センターでの要望

の現実”にしたい」と朝ドラ誘致の実現に向けて抱負を語りました。

今後とも府や関係団体と連携して署名や要望活動を展開するほか、PRポスターの制作やグンゼ創業者夫婦の生涯を学ぶ市民勉強会の開催なども検討しています。

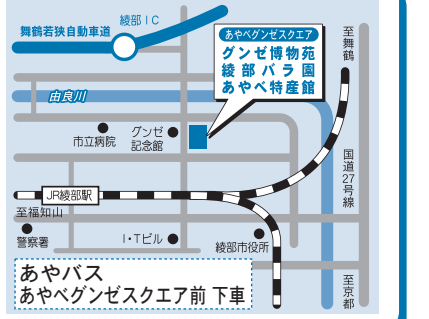
### 引き続き署名活動にご協力を

2月5日時点で、全国各地から集まった署名は4万2965人分。同協議会では引き続き、10万人を目標に署名活動を展開していきます。今後も皆様のご協力をお願いします。詳しくは、観光交流課 ☎(42)4272、綾部商工会議所 ☎(42)0701へ。

### あやベグゼスクエアに行こう！

市の観光交流拠点・あやベグゼスクエア（青野町）内にあるグンゼ博物館の今昔蔵では、波多野鶴吉と妻・はなの生涯のほか、グンゼの創業から現在までの歴史などを紹介。市民一人ひとりが我がまちの歴史を知ることが、魅力を市外にPRする大きな力につながります。綾部発展の歴史を学びに、同苑を訪れてみてはいかがでしょうか。

グンゼ博物館 開館時間：午前10時～午後4時  
火曜日休館（祝日の場合は翌日）  
☎(42)3181（平日） ☎(43)1050（土日祝）



# はばたく君に贈る言葉

## 市長のふるさと講座開催

将来を担う生徒たちがふるさとを理解し、愛着や誇りを持って生きる資質を養うことを目的に、市は「市長のふるさと講座」を開催。1月18日から山崎善也市長が市内6中学校を順に訪れ、卒業を迎える3年生に講演を行っています。

通網などに恵まれた綾部の魅力のほか、課題や今後の展望などを伝えました。また、生徒に「将来の夢は何ですか」と問いかけ、「職業を自由に選べることはとてもありがたいこと。夢の実現

のための努力と戦略的な計画の2つが揃った時、前に進む大きな力になる」、「人生の壁にぶち当たっても帰ってくる場所がある。ふるさとを裏切らないと覚えていてほしい」とメッセージを贈りました。

同講座は平成22年度から始まり、今年で6年目。初年度に講座を受けた当時の中学3年生は、今年成人を迎えました。今回市長からのエールを受けた生徒と当時講座を受けた新成人の声を紹介します。



歴史的建造物や文化、自然などを紹介しながら綾部の魅力を語る山崎市長。1月21日、何北中学校で

ふるさととは裏切らない  
1月21日には何北中学校で開催。自身がUターンでふるさとに戻った経験を踏まえ、自然や歴史、利便性の高い交

両親のUターンとともに、神奈川県から引っ越してきました。綾部は自然が豊かで、神奈川県の友達にも胸を張って自慢できるまち。講座の中で、自由に仕事を選べることや帰るふるさとがあるという話を聞いて、恵まれていると感じました。これからも、ふるさと・綾部を誇りにしていきたいです。



坂根 ここのさん  
（何北中学校）

当時は綾部について知らないことが多く、自分のまちをもっと知らなければと痛感したことを覚えています。現在進学のため地元を離れていますが、綾部は心から落ち着ける場所。将来を担う成人の一員として、家族や友人、ふるさとへの感謝を忘れず勉学に励み、いつか綾部に戻ってふるさとに貢献したいです。



相根 のぞみさん  
（綾中町、大学生）

## 善聞語録



72

### 108ミリの煩惱

ゴルフ愛好者ならばグリーン上のカップの口径が108ミリであることはご存じか？この穴にボールを入れるまでに、プロ・アマ問わず山あり谷あり様々なドラマが展開し、四苦八苦することもざらでない。ゴルフは英国を発祥の地とするが、期せずして「108」という数字が仏教に言う煩惱の数と一致するのも摩訶不思議なことである。

ちなみに四苦八苦を4×9（＝36）、8×9（＝72）などと語呂合わせすれば、ゴルフのパーの数と一致をみる。そしてこの二つの数字の和（36+72）が「108」となるに至っては、ゴルフとはもとよりスポーツと言うより、むしろ煩惱と闘う精神修行の場であると言ってしまうかもしれない。

ホール口径108ミリの由来は、ホールの位置を無常に変ずるたびに徐々に穴が大きくなり、これを防ぐために水道管を切って枠として使ったが、この管の口径が108ミリであったとのこと。この偶然までを仏教用語の煩惱に重ね合わせるのはいささか数字を弄んだ感もあるが、いずれにせよ、この世には理屈では説明できない不思議な現象があるものだ。

意外な人が意外な場所で関係していたり、意外な縁で共通の知人が存在したり。洋の東西と古今を超えて「108」が繋ぐ不思議な縁に、人と人との出逢いの大切さと奥深さを、感謝の気持ちをもって重ねてみる。

山崎善也（綾部市長）